

令和 6 年度(2024 年度)小中高生の外務省訪問
(8 月分)

令和 6 年 10 月 3 日

●富山県 県立富山中部高等学校(令和 6 年 8 月 1 日)

講 師: 西田大輔 総合外交政策局国際平和協力室 主査

開 催 形 式: 対面



●福岡県 私立明治学園中学校(令和 6 年 8 月 5 日)

講 師: 今村啓太 経済局政策課 課長補佐

開 催 形 式: 対面



●山形県 県立山形東高等学校(令和6年8月9日)

講 師: 山田和花奈 国際協力局気候変動課 気候変動交渉官

開催形式: 対面



●神奈川県 県立横浜国際高等学校(令和6年8月19日午前・午後)

講 師: 伏見奈々 国際協力局地球規模課題総括課 主査

開催形式: 対面



●北海道 私立立命館慶祥高等学校(令和6年8月20日)

講 師: 星野こずえ 大臣官房報道課 主査

開 催 形 式: 対面



●兵庫県 県立兵庫高等学校(令和6年8月20日)

講 師: 前田修司 アジア大洋州局北東アジア第二課長

開 催 形 式: 対面



●東京都 都立小山台高等学校(令和6年8月23日)
講 師: 中野美智子 国際協力局事業管理室 課長補佐
開 催 形 式: 対面



●東京都 都立日比谷高等学校(令和6年8月28日)
講 師: 川瀬晃平 アフリカ部アフリカ第一課 主査
開 催 形 式: 対面



参加生徒からの感想(抜粋)

- 今回の訪問プログラムを通して、リアルな体験を沢山聞くことができた。外交を身近に感じ、国際情勢に興味を持つことができた。
- 外務省では様々な部署で幅広い業務をこなし、「世界から見た日本」をよくするために努力していると知った。44言語の専門家がいるという話に驚いた。
- 外務省の組織が大きくて驚いた。沢山の人が外交の現場で日本のために働いていることがわかり、自分も何かできることがないか調べてみようと思った。
- 「ニュースで見ていた話」を、外務省職員が「体験談」として話してくれ、より国際情勢が身近に感じられた。もっと色々なニュースを見て、様々な視点から物事を考えたいと思った。
- 外交や外国語に興味があり、関係する仕事に憧れがあったので、職員から具体的な仕事内容などの話を聞くことができて楽しかった。
- 懇談会で話した職員が、同じ高校の先輩ということで、自分がどのような選択をしていくと外務省に入省できるかを知ることができた。

先生からの感想(抜粋)

- 訪問後、生徒からは「外務省に対する意識・関心が深まった」、「楽しかった」という声が聞かれた。実際に訪問しないと分からない、外務省の仕事の緊張感や重要性は、生徒の人生経験として、生きるのではないかと思う。
- 職員の仕事内容の説明が丁寧で分かり易かった。外国語を学び、外交に関心がある生徒もいたので参考になったと思う。